科目名	成人看護学概論	対象学年・時期	1年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
講義概要	デュプロマポリシー　に基づく。 この科目は「Introduction to Adult Nursing」とも標記されるとおり、成人看護学の「導入部」・「序説」としての位置づけにある。そこで、当科目では成人期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴をふまえ、成人の成長・発達の特徴と健康問題について理解できるようにする。成人は社会との接点が大きいため活動の範囲も広く、担う役割も多い。そのため健康に関する考え方も多様で当科目を設定する。さらにここでは、成人期にある対象への有用な看護を考えるうえで重要な「理論」や「モデル」を学習する。この学習内容は、さまざまな状況にある対象を統合的に理解するため、対象におきている現象を理論的に捉え、看護の方向性を考えるうえで必須であるとの認識のもと、この科目を設定する。		
講義形態	講義・グループワーク・プレゼンテーション		
学習目標	１．成人の定義と成人各期の特徴が説明できる ２．成人保健の動向がわかる ３．成人各期の健康問題がわかる ４．成人の多様な健康観と保健行動におよぼす影響がわかる ５．成人期にある対象の理解と看護を考えるうえで有用な「理論」・「モデル」の概要がわかる		
学習内容 (授業計画)	1回目　成人とは―その定義・条件を知ろう― 成人期にある対象の特徴　　事後学習：成人各期の特徴　ワーク 2回目　成人の身体的機能の特徴と看護 3回目　成人の生活を理解する視点　成人期にみられる健康問題 4回目　成人の健康観　成人保健の動向…「国民衛生の動向」から読み取ろう 5回目　成人の学習の特徴 6回目　成人への看護に有用な「理論」・「モデル」　グループワーク 7回目　成人への看護に有用な「理論」・「モデル」　グループワーク　発表		
使用テキスト	ナーシンググラフィカ　成人看護学①「成人看護学」　メディカ出版 「国民衛生の動向」　厚生労働衛生協会		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	事前学習として講義範囲の教科書を熟読し、不明点を明確にし授業に望みましょう。事後学習の内容については８の「学習内容（授業計画）」を参照してください。授業計画に記載がない場合の事後課題として教科書や講義資料を振り返り、学習内容を整理してください。グループワーク課題については、授業内で説明を行います。		
評価基準と 評価方法	筆記試験		
備考	講義では、随時資料を配布します。テキストと照らし合わせながら学習を進めてください。		